



Nestlé Good food, Good life

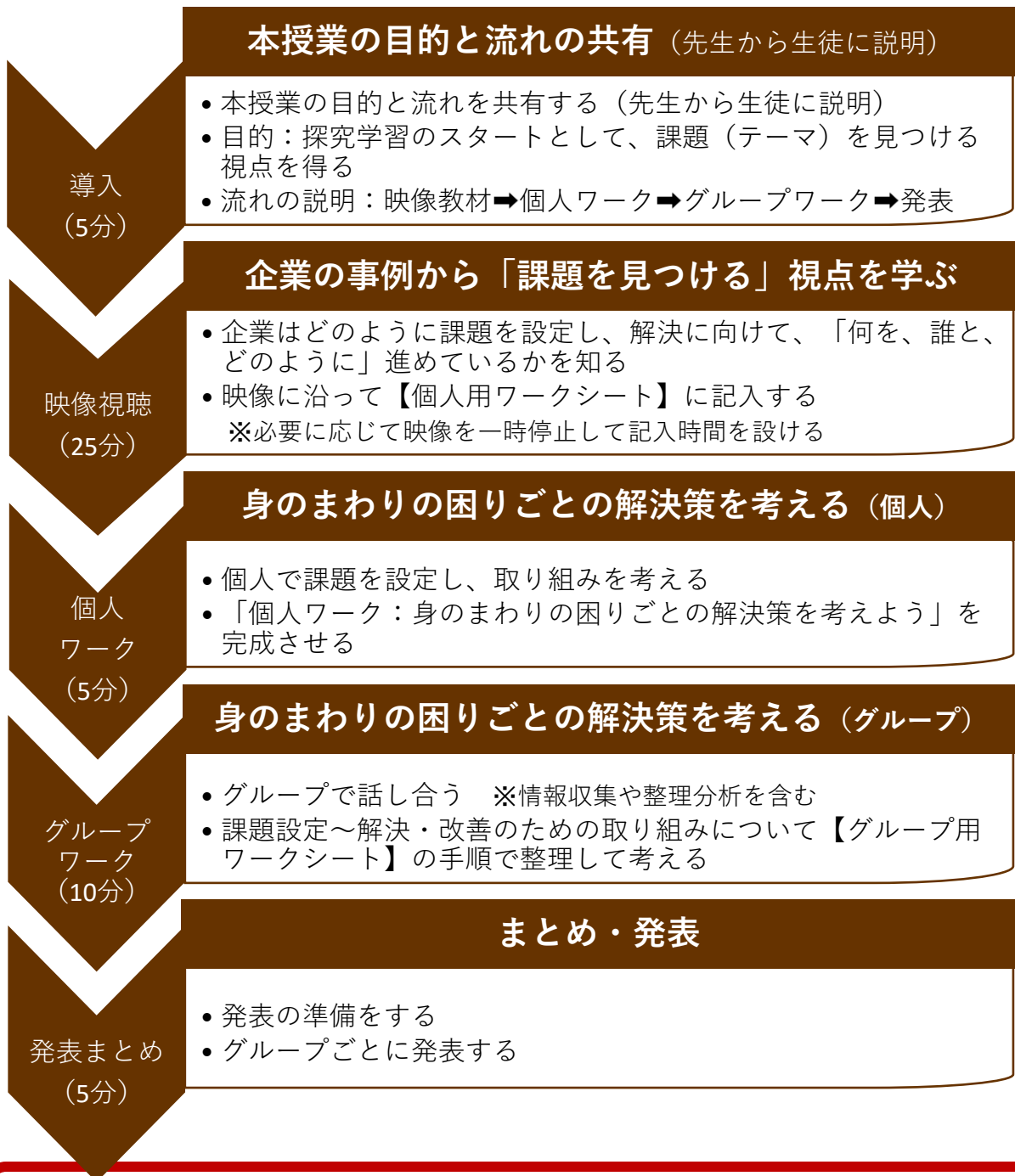
ネスレ サステナビリティ プログラム ～はじめよう、探究学習～

学習指導案 地域課題編

本プログラムは、探究学習の課題の探し方や取り組み方を学ぶ教材です。

授業の流れ（1コマバージョン）

映像教材視聴・個人ワーク → グループワーク → 発表



情報の収集や整理分析を進めることで、
探究学習の深い学びにつながります

ネスレ サステナビリティプログラム ～はじめよう、探究学習～

学習指導案

対象学年	中学校 1 学年～高等学校 3 学年
活用できる単元	中学校：総合的な学習の時間、社会科（地理的分野）、理科（第2分野）、家庭科 高等学校：総合的な探究の時間、社会科（地理総合・公共）、理科（生物基礎・地学基礎）、家庭科（家庭基礎・家庭総合）
本プログラムについて	本プログラムは、サステナブルな社会づくりのための企業の取り組みを知ることで、生徒たちが身のまわりの問題に目を向け、解決に向けてどのように進めていくかを学ぶことを目的としています。 本プログラムを 探究学習の導入のタイミング でご使用いただけますと、具体的な探究活動にスムーズに取り組むことができます。 探究学習は、生徒が自ら考え、周囲と協力して取り組むことが大切です。 映像教材は必要に応じて一時停止し、生徒が考えたり、周囲と話し合ったりする時間を設ける ようにしてください。
プログラム内容	映像視聴 ：地域課題の解決に向けた企業の取り組み事例を紹介します。課題の設定、取り組み方、進め方の具体例を知り、自分の身のまわりの課題は何かを考えるヒントが得られます。 個人ワーク ：映像を視聴しながら要点整理やクイズ回答を書き込む形式の個人用ワークシートを活用し、探究の流れを自然に理解できます。 ※必要に応じてコピーまたはデータを配布してください。 グループワーク ：グループ用ワークシートを活用し、身のまわりの課題や取り組み方を5つのステップで整理し、発表できます。主体的、協働的な 探究活動につながります。
準備	PC、モニター（またはプロジェクター/スクリーン）、オンライン視聴環境、個人用ワークシート、グループ用ワークシート
単元目標	(1) 「課題を見つける」視点が身につく (2) 自分の身のまわりに興味・関心を持ち、「課題」が見つけやすくなる (3) スムーズに探究活動に取り組める
単元の評価基準	(1) 知識・技能： サステナブルな社会づくりのための企業の取り組みを理解し、身のまわりの課題を設定している。 (2) 思考・判断・表現： 身のまわりの課題に対して具体的な活動や進め方を計画している。 (3) 主体的に学習に取り組む態度： グループワークにおいて意見交換をおこない、他者を尊重し、他者と協働しながら自分自身の役割を果たし、課題に対する取り組みに積極的に関わる姿勢がみられる。

学習の展開（50分）

	学習活動	教材
導入 5分	学習目標を確認し、この時間の学習の見通しを持つ。 ・探究学習に取り組むにあたり、「課題」とはなにか？そのためにどうすればよいか？を映像教材をみながら考える。 ・視聴後、個人ワーク、グループワークと進め、グループごとに「マイアクション」を発表する。	映像教材 個人用ワークシート (WS)
展開1 5分	映像教材をみながら、「身のまわりの課題」や「自分のできること」について考える サステナビリティの説明 ①会社紹介 ▶01:30 ①ネスレクイズ（2問） 【映像一時停止】 クイズが出題されたら映像を停止、生徒に挙手等で回答をうながす。 答え①「スイス」 ②「185か国」 【映像再開】 答え合わせ。世界の国の数を、196か国（日本の承認国＋日本）とした場合、ネスレ製品はその95%以上で販売されている。	01:00～04:27 クイズ 回答は挙手または生徒がWSに記入。

	学習活動	教材
<p>展開2 15分</p>	<p>④地域の課題解決に取り組もう</p> <p>映像教材をみながら、「地域課題を解決する取り組み」について考える</p> <p>地域には、気候や産業、人口などの違いや変化からさまざまな課題や問題がある。沖縄県の農業問題を例にあげ、地域課題の解決に向けた企業の取り組みをヒントに、自分たちができることは何か、どうすれば実現できるそうかを考える機会をつくる。</p> <p>はじめに、沖縄県の課題（農業問題）を共有する。</p> <p>▶06:51 穴埋め問題 ①沖縄県の農業問題とコーヒー栽培 【発問:映像一時停止】映像をみながら「沖縄県の地域課題」の説明文を完成する。 答え：ア) 高齢化 イ) 時間 ウ) ベルト エ) 特産品</p> <p>次に、自分たちの地域の困りごとについて、その理由・背景を考えさせ、困りごとの解決・改善のためにどんな取り組みや工夫が必要かを考えさせる。</p> <p>▶08:25 ThinkingTime ②地域の困りごとは？ 【発問:映像一時停止】WSに各自記入。生徒に意見を聞く。</p> <p>▶08:44 ThinkingTime ③困っていることはなぜ、起きているのか？ 【発問:映像一時停止】WSに各自記入。生徒に意見を聞く。</p> <p>▶09:09 ThinkingTime ④解決・改善のための取り組みや工夫は？ 【発問:映像一時停止】WSに各自記入。生徒に意見を聞く。</p> <p>「ネスカフェ 沖縄コーヒープロジェクト」は、高原直泰の思いに共感した様々な人が関わっている。プロジェクトを進めるにあたって、何が大きか考えさせる。</p> <p>▶09:34 「ネスカフェ 沖縄コーヒープロジェクト」にかかわる人々 【発問】取り組みを、誰と一緒にすればうまくいくか。生徒に意見を聞く。 【映像再開】プロジェクトには、色々な人、専門家が関わり、想いを共有している。プロジェクトを進めるには、関係者が知恵を出し合い、協力し合うことが大切である。</p> <p>▶13:42 まとめ 【発問：映像再開】「ネスカフェ 沖縄コーヒープロジェクト」について生徒に感想や意見を聞く。 プロジェクトの発案者の「こうしたい」という強い思いを共有する仲間が存在が大きく、みんなで一緒に協力したり、知恵を絞ったりして、プロジェクトを進めることができる。</p>	<p>04:28～14:18</p> <p>Thinking Time 映像教材を一時停止し発問する。 生徒はWSに記入。</p>
<p>展開3 5分</p>	<p>映像教材をみたあとで、「地域課題を解決する取り組み」について考えを深める</p> <p>▶14:19 ThinkingTime</p> <p>⑤ 取り組みや工夫を実現するには、どんな協力者が必要か考えてみよう。 ⑥ ほかの人たちに協力してもらうために、どんな“働きかけ”ができるか考えよう。</p> <p>●CEOメッセージ</p>	<p>14:19～16:50</p>
<p>5分</p>	<p>個人ワーク</p>	<p>個人用ワークシートに記入</p>
<p>10分</p>	<p>グループワーク</p>	<p>グループ用ワークシートに記入</p>
<p>10分</p>	<p>発表</p>	